

平成25年度中央博シンポジウム
音の風景遺産 ～ふるさとの音を伝えよう～

1 日時 平成25年10月27日 10:00～15:00（受付9:45～）

2 場所 千葉県立中央博物館 講堂

3 内容

音の風景について、私たちが心の中に大切にしている郷土の音風景や場所ごとにユニークな音の風景と音の風景遺産をめぐる様々な知見をご紹介します。また、音の風景を未来に伝えることの意味をともに考え、自然の音に耳を傾ける文化を改めてみなおし、博物館の役割について考えます。

4 主催 千葉県立中央博物館

5 対象 一般（中学生以上） 200名

6 スケジュール

10:00～10:10 開会（挨拶・趣旨説明 中央博物館）

10:10～11:00 基調講演「音の風景が紡ぐ地域の物語」

鳥越 けい子（青山学院大学総合文化政策学部）

11:00～11:30 事例「学校から地域から ～音の出る地図を使って～」

小林 田鶴子（共栄大学教育学部）

11:30～12:15 事例「テレビを聴く～ドラマ・アニメの中の音の風景」

兼古 勝史（立教大学・武蔵大学社会学部）

12:15～13:00 昼食休憩

13:00～13:30 事例「地域の音の風景を記録する博物館」

大庭 照代（千葉県立中央博物館生態・環境研究部）

13:30～14:00 解説「音の風景を仮想空間で再現する技術」

豊谷 純（日本大学生産工学部）

14:00～14:45 「私たちの大切な場所の音環境調査報告

～地域の音が出る地図の聞きどころ～」

1) 仁戸名小学校区 佐々木 明美（千葉市在住）

2) なつかしいふるさとの音・大やぶ池の森 柴田 清治（千葉市在住）

3) 千葉公園の四季 真知 和佳奈／洋二・孝子（千葉市在住）

4) 森と海の SOUND 森山 蒼瑚（中学2年生／千葉市在住）

5) 活動支援で感じたこと 田中 理恵子（研究協力者／千葉市在住）

14:45～15:00 発表者へのコメント・意見交流

15:00 閉会

講演内容

鳥越けい子 「音の風景が紡ぐ地域の物語」

地域の環境文化を発掘し、伝え、構想する「音の風景」という考え方について、全国各地のプロジェクト事例と共にお話しします。日々の暮らしのなかで、故郷の豊かな物語を聴き取り育むためのヒント満載です。

小林田鶴子 「学校から地域から一音の出る地図を使ってー」

子どもたちが学校や地域の身の周りの音を録音して、パソコンの地図に貼り付ける「音の出る地図」を使った実践を紹介します。そこから、身の周りの色々な音の発見や、音の出し方を工夫する創造的な表現法についても触れます。

兼古 勝史 「テレビを聴く～ドラマ・アニメの中の音の風景」

テレビは見るだけでなく、聴くメディア。大河ドラマに出てくる定番音の風景から、ジブリ映画の日米版の音の違いまで、テレビが伝える音を通して、身近な音の風景を考えます。テレビが10倍面白くなる、音のメディアリテラシー事始。

大庭 照代 「地域の音の風景を記録する博物館」

自然と人間のかかわりを音の切り口から探ろうと、24年にわたり模索する中で、地域の音の風景を記録には、録音装置ではなく、地域の人々の耳が必要であることがわかりました。県民の皆さんと共に集めた音を、地図や音空間像にして未来に伝えていきます。

豊谷 純 「音の風景を仮想空間で再現する技術」

風景としての音を再現するには、その方向や音量、タイミング、聞こえる範囲など、さまざまな情報が必要になります。この展示会では、コンピュータの中に、360度パノラマ映像と音を配置して、音の風景を再現します。